

## 2007年東部ファスナー賀詞交歓会

19年1月18日

本日は、諸般の都合により出席することが出来なくなった、当組合理事長になりかわりまして、およばすながらご挨拶をさせて戴きたいと思ひます。

皆様、新年明けましておめでとうござひます。  
謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年も皆様と共に、新年の祝詞を交歓できますことは、無上の喜びと存じます。

さて、昨年を振り返りますと、わが国の経済は全般的には景気回復が、進展し戦後最長だった、『いざなぎ景気』を超え、好調に推移しているようです。大企業は、空前の利益を上げ、中小企業の景況感にも、改善傾向が続いています。

しかしながら、大企業と中小企業の格差は依然として、存在し、業種間や地域間等の、二極化も解消されていません。

当業界を取り巻く環境は、依然厳しく、数量的には大きな、伸びを示しましたが、需要先からのコストダウンの要請、原料価格の高騰が、収益面に影響を及ぼしています。

利益無き繁忙を訴える、企業も多く、景気回復は、実感として乏しかった1年ではなかったか、と思っております。

このような情勢のなか、当組合では、懸案であった、当会館のリニューアルが計画通りに進んで、装いも新たになりました。一方、研修会や講習会、福利厚生事業は、反省点を残しながらも、ほぼ計画通りに実施することが出来ました。

迎えました本年度の経済動向は、聞くところによりますと、踊り場の様相を見せつつも、全般的には順調に推移するものと、思われます。

しかし、更なるグローバル化の進展、中国をはじめとする、東南アジア諸国の進出で、私たち企業を、取り巻く環境は、依然、楽観を、赦さないと考えなければならぬと存じます。

そして今年も、去年に引き続き、大気汚染による、温暖化対策、CO2 排出削減、水質汚染、資源の消費削減等の環境問題を、前向きな姿勢で対応する必要があります。

こうした状況下で、当組合では、会員各位に、ご協力をいただき、組合の付加価値として、ホームページを作り、会員各位のキラリと光る、技術・製品・サービスなどが、顧客の心を捉え、いくらかでも顧客満足度の向上に、お役に立てて、頂ければと、願っております。

皆様と一緒に、情報交換の場を、有意義に利用していきたい、と思っています。

当組合も、おかげを、もちまして、今年 60 周年を迎えることができます。

皆様 本年もよろしくお願いいたします。

今年が皆様にとりまして、新たなる、なお一層の飛躍、発展の年になるよう、心から、祈念申し上げます。

はなはだ、粗略ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

ご清聴有難うございました。

(有)千葉精螺  
代表取締役 千葉 恵一